

1 訪問概要

・ 目的

当別町とレクサンド市の姉妹都市提携25周年を記念し、レクサンド市で開催される記念式典に出席するほか、様々な記念行事・交流を通じこれまで培ってきた友好関係をより一層深める。

また、国際感覚豊かな人材の育成につなげるべく、在スウェーデン日本大使館と連携しストックホルム市内の視察を実施する。

・ 姉妹都市提携までのあゆみ

当別町が、レクサンド市との姉妹都市交流を行うきっかけとなったのは、「スウェーデン村計画」から始まる。昭和53年、元スウェーデン大使だった都倉栄二氏が当別町に来町された際、「ストックホルムの郊外の町並みによく似ている」と感想を述べられ、スウェーデン王国から帰任のおり、国王より「スウェーデンと日本との交流のための足掛かりがほしい」と依頼された経緯があり、気候風土のよく似たここに、昭和54年民間の宅地開発業者により「スウェーデン村計画」が提示され、町が誘致を表明し、昭和61年に交流の拠点となる「(財)スウェーデン交流センター」が完成。

その間、昭和58年に駐日スウェーデン大使が来町され、スウェーデン訪問のお誘いを受け公式訪問が実現し、その時に当別町にふさわしい姉妹都市の紹介を依頼し、昭和62年にレクサンド市との姉妹都市提携の調印。平成24年に姉妹都市提携25周年を迎えた。

・ レクサンド・ストックホルムの概要

レクサンド Leksand

人口 約1.5万人 面積 1,227km²

首都ストックホルム市から北西に約250kmに位置し、面積の80%を森と湖が占める。

広大な森林に囲まれたシリアン湖を中心に豊かな自然とスウェーデンの伝統・文化が色濃く残っている地域で、「スウェーデン人の心のふるさと」と呼ばれている。

レクサンドで行われる夏の伝統行事・夏至祭には、国内はもとよりヨーロッパ各地から数万人の観光客が訪れる。

ストックホルム Stockholm

人口 約86.8万人 面積 215km²

スウェーデン王国の首都で、北欧最大の都市。湖に囲まれた街ストックホルムは北欧のベニスと呼ばれ、世界で最も美しい街のひとつである。



・ 訪問団名簿

団 長	当別町長	泉 亭 俊 彦
副団長	当別町議会議長	高 谷 茂
副団長	当別・レクサンド都市交流協会 会長 当別町商工会 会長	山 田 明
	当別町教育委員会 教育長	山 内 秀 治
	当別町農業委員会 会長 当別町議会議員	神 林 俊 一
	当別町議会 総務文教厚生常任委員会委員長	臼 杵 英 男
	当別町議会 産業建設常任委員会 委員長	市 川 正
	当別町議会 前議長	竹 田 和 雄
	当別・レクサンド都市交流協会 副会長 代理 JA 北いしかり 専務理事	川 村 義 宏
	当別・レクサンド都市交流協会 副会長 代理 当別町観光協会 副会長	辻 野 浩
	当別・レクサンド都市交流協会 常任幹事 スウェーデン交流センター専務理事	杉 野 秀 雄
公式通訳	(協会選任)	伊 藤 伸 哉
	当別町建設協会 会長	宮 永 雅 己
	当別土地改良区 理事長	山 田 智
	篠津中央土地改良区推薦	古 谷 陽 一
	当別新産業活性化センター 顧問	安 田 雅 人
	当別パークゴルフ協会 役員 (中学英語教諭)	二ノ宮 隆 精
	スウェーデンヒルズ町内会 会長	佐 藤 友 彦
	夏至祭実行委員 FIKA 職員	坂 本 千 鶴

	夏至祭実行委員 農業	荒戸 恵子
	校長会	渡邊 光太郎
	教頭会	佐藤 直己
	農業	渡部 昇
	農業	渋谷 政雄
		山下 秀孝
	カスミ草の会 会長、民生委員	大畑 富雄
	当別裏千家茶道同好会	辻野 道子
		鶴野 彩子
	花舞	堀 優理
		竹原 知美
		佐藤 良子
	当別混声合唱団	島田 かおる
		工藤 和彦
		澤内 律子
随行	当別町企画部長	増輪 肇
随行	当別町企画部情報課主幹	高田 訓之
随行	当別町 美しいまちづくり係長	土井 大輔
随行	協会事務局 当別町商工会事務局	茂又 規彰

・ 訪問日程

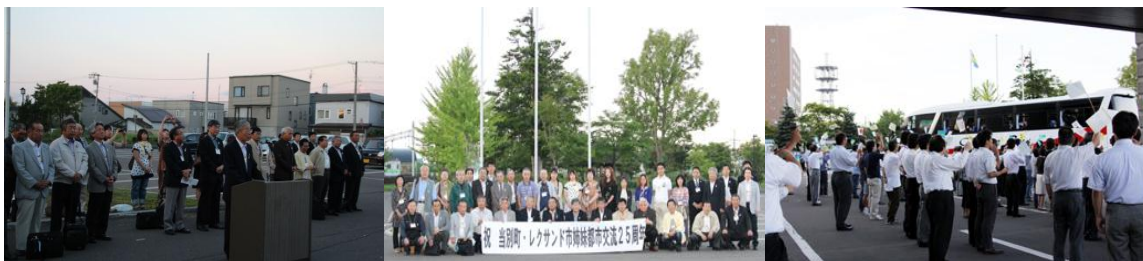
	日時	地名	現地時刻	日 程
1	9/5 (水)	当別町 当別町発 新千歳発 成田発 コペンハーゲン発 ストックホルム着	5:00 5:30 7:50 11:40 18:10 19:20	出発壮行会・結団式 新千歳空港へ移動 空路、成田空港へ 空路、コペンハーゲンへ 空路、ストックホルムへ 着後、ホテルへ移動 ＜ストックホルム泊＞
2	9/6 (木)	ストックホルム発 レクサンド着	10:00 15:15 18:00	レクサンドへ移動 歓迎セレモニー(市庁舎) 歓迎夕食会(レクサンド高校) ＜レクサンド泊＞
3	9/7 (金)	レクサンド	午前・午後 11:30 19:00	グループ別研修(企業訪問など) 陶芸穴窯の開窯式 グループ別行動(アイスホッケー観戦など) ＜レクサンド泊＞
4	9/8 (土)	レクサンド	10:30 13:30 19:00 20:00	25周年事業のメイン行事開催日 桜の記念植樹 25周年記念式典 パレード 記念夕食会 ＜レクサンド泊＞
5	9/9 (日)	レクサンド レクサンド発	9:00 13:30 15:00 17:15	グループ別行動(パークゴルフ大会など) あずまや贈呈式 お別れパーティー ストックホルムへ移動 ＜ストックホルム泊＞
6	9/10 (月)	ストックホルム	終日 午前 午後 17:00	ストックホルム研修 グループ別研修 市内視察 在スウェーデン日本大使主催レセプション ＜ストックホルム泊＞
7	9/11 (火)	ホテル発 ストックホルム発 コペンハーゲン発	午前 12:20 15:50	空港へ移動 空路、コペンハーゲンへ 空路、成田へ ＜機内泊＞
8	9/12 (水)	成田着 羽田発 新千歳着 当別町着	9:35 13:15 14:45 16:45	着後、羽田空港へ移動 空路、新千歳へ 着後、当別へ移動 解散

9月5日(水)

出

発壮行会・結団式(当別町 総合体育館)

早朝にも関わらず、多くの町民のみなさんに出発を見送っていただきました。



9月6日(木)

表

敬訪問(レクサンド 市庁舎)

市庁舎前、沿道には大勢の市民のみなさんが集まり、訪問団を熱烈に歓迎していただきました。会場を議場に移し行われたセレモニーでは、両首長の挨拶、記念品交換、関係者の紹介などが行われ、25周年記念事業がスタートしました。



歓

迎夕食会(レクサンド レクサンド高校)

レクサンド高校には日本語学科をはじめ様々な学科があり、この日はホテル・レストラン科の生徒のみなさんによる料理が振る舞われ、我々の訪問を歓迎していただきました。



9月7日(金)

ゲ

グループ研修(レクサンド トーモクヒューズAB社他)

4グループ(企業・農業・教育・福祉)に分かれ、各種研修を行いました。

詳細:グループ研修報告書参照





陶 芸穴窯開窯式(レクサンド レクサンド成人学校)
 レクサンド成人学校は、18歳以上の方が通う専門学校です。日本式の陶芸を学ぶコースがあり、陶器を焼く穴窯が完成したことからオープニングイベントが開催されました。イベントでは、訪問団員の辻野道子さんによる茶道の紹介も行われ、日本文化の一端を披露しました。





9月8日(土)

桜の記念植樹(レクサンド 日本庭園)
 姉妹都市提携25周年を記念し、当別町から寄贈した25本の桜の木を日本庭園に植樹しました。会場ではストックホルム在住の日本人会さくらコーラスのみなさんによる「さくら」の合唱と着物のファッションショーも行われ、来場者の興味を引いていました。



2 5周年記念式典(レクサンド シリアン湖畔特設会場)

渡邊在スウェーデン日本大使、ノールファルク ダーラナ県知事をはじめ多くの
来賓の方々や市民のみなさんが見守る中、記念式典が盛大に開催されました。式
典では、リリエベリ市長が「これまでの25年、レクサンド市民と当別町民がお互いに広い理
解を持ちながら交流を進め、私たちレクサンド市民はいろいろな良いものを得ることができま
した。当別町民のみなさんも私たちから得たものがあれば、非常にうれしく思います。私は、こ
の交流(リレーのバトン)を次の世代である若いみなさんへと引き継いでいきたいと考えま
す。」と挨拶したのにつき、泉亭町長も「これまで当別町とレクサンド市それぞれ200名以上
にも及ぶたくさんの市民が相互訪問するなど、他に例をみない充実した交流を継続してくるこ
とができました。両市町がますます発展するため、これまで築き上げてきた“絆”を基盤に、新
たなステージへとステップアップさせ、子孫の幸福のために存在し続ける、姉妹都市交流にす
べきと心新たにしたところですよ」と挨拶し、式典の最後には「友情」、「平和」など、日本語でメッ
セージが書かれた25個の石を湖に投げ入れ、変わらぬ友好とさらなる発展を誓いました。な
お、この模様はインターネットを通じリアルタイムで配信され、当別でも現地の雰囲気味わう
ことができました。





コンサート、パレード(レクサンド レクサンド協会～貯蓄銀行公園)
 レクサンド教会でコンサートを鑑賞した後、教会から貯蓄銀行公園までの市街地をパレードしました。この日はカルチャーナイトと称し、市内の至る所で「文化」をテーマにイベントが開催され、貯蓄銀行公園では、日本の文化・スポーツ(折り紙、書道、柔道など)を紹介するブースが設けられ、日本に関心のある若者達を中心に賑わっていました。





記 念夕食会(レクサンド モスコージェンホテル)

当別町との姉妹都市提携に尽力された元市長ドーベルスコーク氏のご子息により当時のエピソードが語られるなど、両市町民でこれまでの交流を振り返り、この記念すべき節目の年をともに祝いました。会の中では、訪問団員の大畑氏の詩吟、東海大の学生さんによる合唱、レクサンド高校のマリン・オルソンさんの歌が披露され、楽しい時間を過ごしました。



9月9日(日)

グループ別行動(レクサンド インシオンパークゴルフ場他)
パークゴルフ交流とシリアン湖観光施策研修の2グループに分かれ、行動しました。

これまでの交流で普及・伝承してきた北海道発祥のスポーツである「パークゴルフ」の国際大会がインシオンのパークゴルフ場で行われました。日本チームとスウェーデンチームに分かれ行われた団体戦では、日本1,765対スウェーデン1,534のスコアでスウェーデンチームが勝利しました。同パークゴルフ場内にはあずま屋も完成し、今後パークゴルフを楽しむ市民の憩いの場として、利用されることが期待されます。



シリアン湖観光施策研修(ヨブス工房・ダーラナ自然博物館)

スウェーデンでも有名な観光地であるシリアン湖周辺にあるヨブス工房では、手染め染色した布を使った各種製品を販売しており、年間5400㎡が販売されています。ダーラナ自然博物館では雄大な自然や動物に関する生息について研修しました。レクサンド市のあるダーラナ県の県鳥がふくろうであり当別町とのつながりを感じます。



お

別れパーティー(レクサンド グスタフバーサ号)

船上で行われたパーティーでは、当別町とレクサンド市の交流の架け橋として永年活躍されてきた現地連絡員である八幡敬子ラーション氏に対し、泉亭町長から感謝状が贈られました。お互いの参加者は別れを惜しみつつ、再会の約束をし、レクサンドを離れました。



9月10日(月)

ス トックホルム研修(ストックホルム 在スウェーデン日本大使館ほか)
4グループ(大使館訪問・環境リサイクル・教育・福祉)に分かれ、研修を行いました。大使館を訪問したグループでは今後の交流のあり方について懇談したほか、ストックホルム市内の先進的事例を有する施設を訪問し、研修を行いました。



市 内視察(ストックホルム 旧市街地ほか)
ストックホルム市庁舎をはじめとし、スウェーデンを代表する歴史的建造物等を視察しました。





在 スウェーデン日本大使館歓迎レセプション(ストックホルム 大使公邸)
 渡邊大使のご厚意により、訪問団員全員を大使公邸にお招きいただきました。参加した訪問団員のみなさんは、日頃接する機会の少ない大使館スタッフとの懇談を楽しむとともに、久しぶりの日本食を味わい、自然と笑顔があふれていました。



9月12日(水)

全日程を終了し、全員無事帰国しました。

